



集義外書

削簡

地

合八冊

2760
8-1

學大田稻早
館書圖
庫文田內者托寄
號〇五一第書托寄
號 7 第
冊 20 第



門牌 2760
卷 1-8

集義外書序

集義外書及外書ハ息游軒熊沢先生
のありき所とてなり也予ハ和書ハとていせ
外書ハ外書とていせ予ハ和書ハとていせ
書ハおんを學者者日用の工夫を論とれハ
もやしりたるやとせむ多くあり外書ハ
予ハ經世治教のるいもりて處ふ世
乃と律とわのそとわ終ハよるの徒



大正五年九月廿五日
内田嘉子氏



大正五年九月廿五日

秘しめて其の終を待てて其の放よるは其の
すれ一予この比にお書と得てこそ
とよるはゆとく先生は道融一才しり
きこは信し且るはうの終んこそは
おそれなく梓ぬららり免ゆる予嘗て
の徒の借り一とまらり此書載ふとら
或る人乃かこははる一まにその方無
をこはよるなりとしてまふのあはるは

了母育又或る母のころのよはとら
と考ふるふはあはる一あまのころせ乃こ
とりさばあつと編しはかとするの
解されもきこるれむひとみと道理と
はまてそのの先生乃ころなりとまん
市とい今この書ははるや人事乃育云
いかりしはして理の當否をあらはる免
かばるの徒乃先覺とての秘して先生

述作此奥旨とせしむじと我道とせし
ひふ乃こは後とせしん

寶永庚寅初夏下旬

書肆小山知常謹誌



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters '知常' and '道'.



集義外書卷一

削簡一

一知君をよりきんてはぬ一人は卷一。いま道理と
まれまふなき。知是もいけはまきとせよ。志あり
若とせしむといく。吾根をくぐりあり。学問
をみく大くたてて。不吾のぬいとせまぬ。いまあ
はさとも不吾か。所とあされとせ。吾よわしむは
いと下。天地乃回よ。去つたりぬと。春よわそはさか人
けく。吾事家よみらぬと。吾はをけりまらる人せり
道程あり。吾よりと別よ。吾不わらぬ。大偏のまらり
ぬ。大典十義有る。自然よ教。わらぬとあり。さては

集義外書卷一 削簡一

世の中よく塩乃河のあり年ハ世中甲ありいんとおれ
し。早にハ塩多くやき。ぬつまよけさハ塩多くやけを。
うねも塩候。今の二箇一を減して。人の迷惑よ及へ
と。多よよひて。いさる魚もよもはよ塩して。魚もよ
す。お妙りい。又老人乃よりしハ。若狭四より川の焼物乃
多より。あや年ハあよハ。二十倍あり。しやう一色りしり
者ハ。今ハ十五もねい。はらあり故よ。たすまよをい。より
うねい。もハねい。今の十分一ありて。人の迷惑よ及へ
と。塩候と焼物よ。山林をよとて。あやる事よ。とん
山林ハ。田のわあり。喜ぬみりぬハ。天代字化のぬよハ。六
七月の間よハ。字化のぬよ。まねて。夕立とぬく田畠を

昔つて。夕立ハ。山川の神氣の。よくまを。出。る候と。はよ
んれ。とハ。ああお。神氣と。んあり。ああは。ま。神
氣お。り。て。ま。あ。と。と。ま。ら。う。と。ま。じ。あ。ら。乃
お。と。あ。ま。あ。け。ま。と。ハ。ま。と。川。中。に。と。と。す。あ。ぬ
ま。と。も。あ。ま。あ。と。と。と。と。十日と二十日も。あ。川。よ。出
よ。故。よ。か。と。と。て。は。あ。は。憂。あ。と。と。よ。あ。あ。あ。け。ま。と。と。
妙。川。中。よ。と。と。川。と。と。と。と。ち。あ。と。と。と。と。と。と。ま。
本。あ。ま。ゆ。い。よ。一。度。よ。河。よ。あ。入。と。と。と。川。と。と。と。け。ま。と。
は。あ。の。憂。あり。と。川。の。神。ま。う。と。と。と。は。は。ま。と。あ。て。あ。と
中。と。と。と。も。あ。け。ま。と。平生ハ。田。地。の。目。あ。と。と。か。く。あ。は
あ。と。と。と。も。よ。自由。あり。と。と。これ。皆。と。は。乃。地。理。よ。と。と。と。神
明。の。祀。と。知。人。す。た。た。た。あり。國。よ。忠。あ。ん。人。ハ。塩。候。と。焼。物

と成減とも増へりて。と上右人も。とをたんとそのハ
子孫のしるしとす。傳い

一 来書略。新田をかくと。人を告ふの才一とて。子孫のしるし
傳い

返書略。國一田畠とらりや。山林も毛の地あり。士民た
またよりあき地あり。野ハ野あり。とたつる。そのく。其
上野回とひききて。古比の田あり。如あり。よくひん
有る。まきもよ。あきとらり。あき。よ。新田ありとも。若子
あり。とよ。か。と。ま。と。と。さ。の。あ。と。其。義。あり。と。
義とよ。ハ。大。道。と。それ。つ。れ。く。あり。う。の。の。村。民。の。と。は。
け。の。ハ。新。田。を。と。う。て。有。付。い。ハ。一。垣。溪。國。去。乃。ハ。林。り
る。ハ。材。木。新。不。自。由。ち。の。付。の。の。溪。と。減。と。へ。る。ハ。垣。焼

そののころをたれ。あ。新田は。と。と。一。垣。溪。ハ。百。石。の。人。ハ。回
比。千。の。百。石。ハ。入。い。と。も。あ。ま。り。有。り。く。い。垣。溪。ハ。人。多。入。こ。ひ。も
は。と。傳。り。あ。け。乃。や。じ。と。あ。と。入。久。あ。と。ハ。お。と。傳。り。ま。い。ハ
新。田。の。り。人。入。う。み。と。後。其。人。を。迷。惑。せ。と。ら。と。は。な。り。
ぬ。り。あ。く。ゆ。と。ハ。と。ら。あ。ん。人。ハ。と。一。後。世。ハ。仁。政。の。と。と。か
り。ん。と。あ。よ。妙。一。並。度。候。よ。い。

一 来書略。近來を年よのま。人かく。凶年よ。ま。人。多。て。
か。川。え。よ。乃。い。の。り。つ。い。つ。
返書略。世。向。よ。ま。と。け。と。い。ふ。ま。繁。ハ。百姓。の。よ。り。出。り。回。合
あ。く。い。ぬ。と。ん。言。武。百。石。の。家。勢。を。兄。弟。二。人。ハ。分。く。百。石
は。ち。ち。り。す。と。ハ。小。新。小。り。と。ら。傳。り。あり。その。ま。又。子。も
を。ち。く。の。十。石。に。け。と。け。つ。と。ハ。し。ら。や。比。士。の。と。い。は。と。く。

儒も佛もあつて。儒は乃悟道者の根よりいある人
 多し。本よりこれ又世の害あれ。吾思おまゝに其害
 乃ん人のより。まによつて。よれといふ。此いつとも
 仁厚人。勇強の生付とも。平人よ。あはれ。文字により
 て。其平人あり。ね。あつた。なり。うり。より。く。ろ。こ
 を。お。お。れ。け。つ。ま。あ。つ。い。ま。に。よ。つ。て。ま。路。の。も。あ。る
 一。ま。書。略。世。人。乃。ま。い。と。民。此。困。窮。の。根。より。生
 る。く。い。り。幸。甚。あり

一 来書略。世人乃まといと。民此困窮の根より生

返書略。世人此中い。民此困窮の根より生。民此困窮

ハ。世乃奢より。せ。と。は。と。わ。く。い。あ。れ。も。教。十。年。奢。よ
 して。後。世。と。り。よ。の。餘。多。あ。ま。い。あ。よ。奢。と。や。め。じ。と。と
 とい。う。多。よ。及。よ。の。多。ま。あ。つ。て。い。其。端。乃。後。世。ハ。か。よ。あ
 て。教。十。万。人。あ。あ。一。ま。れ。ハ。先。も。多。よ。ハ。制。し。う。こ。か。ん。し。
 人の迷惑を。に。政。と。い。大。道。の。れ。い。り。一。人。も。迷
 惑。と。り。よ。の。か。く。人。れ。ま。い。い。も。困。窮。と。や。と。す。い。

一 来書略。佛よ。云。國。無。道。時。ハ。必。殺。う。つ。か。く。こ。の。ら。と。也。し
 去。年。あ。と。ハ。却。く。妖。を。り。と。り。ん。と。そ。れ。を。年。ハ。考。み
 あ。と。と。や

返書略。去。年。ハ。考。道。の。考。を。り。國。を。か。け。ま。ハ。天。氣。不。順
 あり。て。必。殺。全。く。こ。の。る。み。好。し。民。其。と。と。あ。れ。よ。お。し。て
 考。と。と。其。る。と。と。一。年。か。く。去。年。あ。と。ハ。殺。業。れ。凶

年以年成流りて。昔海くれを年といひ。りりか
ありんとの極よ。成成ゆらじか故よ。後の流まりとあり。
是とみく候と。いふあり。米も並と。候(お)後。武士も
候ゆるも。同事よ。

一未書略。も。おれをましくり。喪礼を怪く候ふ
る。おれと。Pのの由。うも。候りり。

返書略。我おれをましくり。喪礼を怪く候ふあり
と。喪ハ哀戚をわく。おハ誠敬とわく。天子は福
貴より。庶人の賜。きよ。玉と。誠敬哀戚の突ハ。損
益れ。礼ハ上下。おとあり。日家の有。よ。志さう
よの也。又玉の有。成成。ふ。か。り。ん。や。日。本。ハ。お。玉。よ
して。ふ。候。あり。ら。は。地。福。く。く。して。人。多。し。中。華。此。と。

く。死をどゆのれをゆへく。むい。ま。日。本。國。中。と。か。を。を。く。
り。の。故。十。人。よ。さ。さ。り。儒。志。の。道。を。ゆ。へ。人。は。棺。槨。ハ。何。程
英。と。ら。し。ら。し。も。害。あ。る。人。は。聖。人。乃。礼。を。わ。き。ぬ
より。い。も。よ。う。く。あ。う。れ。も。玉。下。に。乃。の。ゆ。り。久。き。通。法
よ。わ。り。り。く。人。死。して。魂。氣。ハ。り。と。より。虚。中。に。あり。ゆ
き。く。り。よ。く。お。魂。體。ハ。お。帰。も。理。の。者。を。り。と。も。わ。の
に。ら。ら。わ。り。ハ。ま。さ。と。移。り。あ。う。れ。も。孝。子。の。ゆ。え。親。乃。体
を。也。よ。土。中。小。か。さ。の。蟻。蟻。よ。わ。て。ふ。る。よ。志。の。い。も。志。り
く。つ。く。た。り。ハ。情。け。り。我。身。の。後。よ。と。い。く。ハ。あ。き。く
若。よ。と。何。か。も。可。あり。ま。り。と。お。と。も。可。也。せ。と。
明。徳。あり。時。の。才。よ。義。よ。害。を。た。し。ハ。同。俗。よ。志
く。つ。く。お。か。り。ゆ。て。も。ぬ。を。の。く。小。を。を。き。し。き。よ

理するはとていはいよくい。とて。物くうりれる事かてありしと。
 子もこれ非としいより。亦ハ除きあふ。一そし。い。予り。子見
 に非あり。化乃。孝老れ。色あり。と。世。法。ま。と。り。民。と。と。由
 分の。た。道。よ。ハ。悔。さ。り。ぬ。一。と。悔。く。る。取。れ。星。の。老。か。と。か
 く。や。ま。し。ゆ。く。信。老。也。多。少。と。う。ゆ。と。ハ。百。分。二。三。也。と
 及。と。す。と。と。お。た。そ。老。の。中。と。と。ま。う。い。よ。と。と。子。の。人。一。堂
 子の。身。方。う。ら。と。は。ハ。是。非。ハ。知。り。て。あ。さ。悔。き。凡。情
 と。と。入。く。い。又。予。を。言。く。より。そ。一。ま。こ。め。く。を。言。う。ら。必。る
 人。よ。も。七。聖。の。同。志。と。と。及。法。の。物。く。う。り。と。は。て。も。お。し。さ
 分。極。め。一。他。か。も。不。り。由。た。ら。神。み。ぬ。ハ。知。り。及。く。ハ
 困。厄。の。や。い。あ。え。く。い。下。も。予。り。を。ハ。天。の。あ。さ。ふ。奉。と
 お。た。え。の。配。お。乃。月。罪。め。て。と。ん。と。と。あ。は。悔。り。と。い。ハ。已

世はのうとてうとて。此。静。を。り。月。ハ。世。ハ。あ。は。人。れ。ん。う。と
 きたる。也。配。不。を。終。ハ。と。と。う。世。の。外。れ。月。も。ん。悔。と。て。い。一
 命。と。い。富。美。に。て。世。ら。い。ら。く。た。我。を。一。實。に。罪。と。の。か。か
 え。わ。く。ハ。困。厄。の。死。を。う。と。一。命。と。い。あ。よ。ハ。罪。れ。と。知。人
 有。と。も。我。を。り。知。り。る。あ。く。ハ。公。ハ。廣。大。と。明。の。を。然。を。失
 之。う。法。和。漢。と。も。不。昔。の。賢。人。君。子。名。あ。は。ん。れ。流。罪。よ。志
 川。と。法。一。も。罪。の。あ。ぬ。一。と。う。や。に。つ。の。か。一。と。り。ゆ。く
 の。う。よ。い。つ。と。其。時。よ。ハ。つ。い。け。も。た。く。世。人。と。あ。よ。罪。あ。り
 とも。か。よ。く。い。と。う。ハ。賢。人。好。人。と。り。り。あ。い。き。く。自。己
 乃。知。よ。ら。り。あ。れ。故。よ。日。月。の。蝕。乃。と。う。く。と。く。後。世。り
 せ。く。い。り。あ。ら。れ。は。て。其。流。罪。等。の。ゆ。や。ま。し。と。成。て
 疵。ハ。あ。ら。ぬ。い。お。師。の。天。律。も。諺。よ。ら。り。て。か。り。され。始。り。守

といふ。乃法をそとく。六蔵よあそみたり。ら馬法を鉄炮。
ら師の達志。なれ格。た。武家乃。こ。あれた。武士。ら。の
り。さ。い。し。つ。ふ。か。い。師。も。も。と。こ。ら。か。ら。な。り。は。な。れ。乃
あ。や。ま。り。け。り。家。業。し。か。り。い。あ。う。師。上。の。あ。う。さ。れ。ん。た。
く。川。い。て。か。こ。う。ら。の。け。り。上。の。師。家。乳。と。あ。く。不。業。は
害。く。て。ま。の。き。給。う。ら。ら。師。乃。畜。獸。を。と。ま。と。比。川。の
急。を。割。と。れ。格。と。か。り。せ。り。あ。く。士。乃。侍。等。と。と。く。や。う。み
と。師。も。法。わ。り。て。ら。ら。り。あ。く。は。戦。陣。あ。て。し。た。武。士。を。
是。非。か。く。あ。う。す。や。あ。は。馬。川。け。り。と。つ。て。鉄。炮。は。敵。り
あ。と。は。方。方。に。も。ゆ。り。の。け。り。格。よ。用。く。は。換。あ。り。を。と
う。ら。か。う。う。け。く。と。れ。士。乃。武。事。と。習。く。は。な。り。り
と。か。い。あ。う。ら。れ。教。生。は。割。禁。と。は。と。の。士。乃。ら。あ。く。は

わ。ら。事。ま。し。あり。あ。う。さ。れ。し。秘。つ。を。カ。と。て。あ
り。と。ら。の。け。り。音。か。け。と。は。も。も。か。う。う。す。な。れ。一。人
鉄。炮。乃。教。生。一。格。は。家。中。の。ら。れ。秘。つ。い。さ。あ。ま。け。と。あ
り。多。し。い。か。い。さ。り。り。習。く。士。乃。武。事。は。う。あ。う。は。士。乃
り。及。ら。す。う。わ。り。秘。つ。格。れ。う。あ。は。回。島。を。う。さ。れ。は。は
名。敵。乃。回。島。を。害。と。ら。を。除。き。武。事。と。な。り。て。民。の。怒
け。た。は。か。り。の。西。也。百。年。の。ま。ま。く。れ。ら。は。今。の。鉄。炮。より。と
ゆ。され。今。と。鉄。炮。の。教。生。と。と。あ。く。ら。と。ゆ。り。格。り。
教。生。と。上。の。物。本。一。と。鉄。炮。は。奥。の。家。と。格。麻。の。回
島。は。害。と。ら。は。う。ら。か。う。う。且。軍。用。は。用。人。と。の。こ。
と。と。し。う。は。ら。の。格。人。と。と。る。う。は。り。し。う。に。久。か。と
と。者。人。後。世。の。な。れ。は。文。を。る。知。の。こ。あ。は。武。と。も。好。じ

支丹乃人をきつうと事也。幻術のさしひなりとて。或は親者と信とて。冥罪は及く。そらすら切刀もなし。くくく親と云。親者と云。そのありき。あけすのふも云。信心の力に。さやれ奇物ありとも。又情欲の佛心とて。これよりハカの方をまらうと。戒定慧の功徳より。て。愈の度るに。眼くふをぬく。信身を生じ。いふ。是とも。いひ。信は乃流い。あしつて。事とつひ。そとつて。か。こと。いひ。人よ。い。て。ま。つ。信り。け。内。つ。ま。う。ま。い。く。い。ん。や。返書略。幻術の義也。孝のなり。その。慈恵あふ。その。な。て。み。け。と。い。なり。なり。信り。根。色。ハ。慈。恵。れ。信。と。人。わ。く。信。法。の。た。り。も。能。生。と。不。便。よ。ま。ふ。り。出。す。ま。ら。う。と。め。く。幻。術。も。と。れ。ら。う。と。い。ち。ち。ん。一。息。の。た。つ。え。ハ。

わきま。名利者我乃をき。慈恵より。い。う。う。事。在。方。候。も。信。り。後。世。の。佛。去。名。利。者。我。の。心。あり。か。う。そ。ま。い。修。行。ハ。清。僧。なり。も。方。候。ハ。あ。ら。ま。さ。り。あ。く。い。幻。術。さ。り。の。ハ。い。わ。く。な。は。う。え。く。と。れ。ん。は。け。の。あ。う。り。も。あ。よ。知。あ。り。ま。あ。る。團。ま。て。ん。り。う。い。ハ。い。と。さ。し。て。信。善。薩。の。通。カ。こ。の。ま。つ。信。り。も。ら。い。に。あ。も。信。家。よ。ハ。あ。ら。う。り。の。ま。は。し。ふ。ま。ん。信。明。の。理。を。た。れ。ハ。不。測。の。神。より。い。く。う。た。う。幻。術。ハ。魔。法。の。ま。ま。と。ま。ら。と。信。り。ぬ。信。教。の。奇。特。因。縁。物。の。中。に。一。種。理。よ。あ。ら。う。り。と。ま。さ。り。信。在。世。乃。信。也。親。色。を。信。と。ふ。女。人。あり。男。よ。捨。れ。く。法。信。よ。の。そ。い。と。あ。ら。う。り。も。を。信。あ。れ。し。を。い。く。念。一。指。さ。り。に。あ。ら。う。り。親。色。佛。

凡食して。勿御し。御り。あるぬ。女人礼法して。さうの
 一。は。う。り。P。新。色。を。と。れ。よ。素。を。あ。て。と。れ。と。焚。し
 て。身。よ。め。る。あ。く。と。く。去。給。へ。P。女。人。を。一。の。こ。と。せ。し。ふ。
 そ。ら。ま。ら。瘡。愈。く。中。身。の。こ。と。く。わ。り。あ。く。に
 心。と。り。て。や。く。を。病。を。治。く。其。心。よ。り。あ。く。魚。は。未
 進。業。の。あ。く。と。P。を。の。新。色。我。い。る。知。を。比。地。の。も。と。に
 と。の。あ。く。P。信。牙。子。も。女。人。も。を。理。を。不。知。を。耐。新。色。を。云。
 我。世。を。と。り。し。と。あ。く。意。想。を。く。ら。あ。く。女。人。乃。信。心
 よ。そ。く。あ。く。と。ら。あ。く。現。し。つ。ん。我。不。知。と。け。物。を。り
 一。と。ま。乃。神。理。あり。そ。く。人。も。あ。く。は。く。た。あ。く。今。も。理。を
 と。お。れ。た。つ。ひ。も。一。く。し。ゆ。あ。く。P。入。度。は。一。た。を。む。か
 と。神。佛。を。よ。し。人。の。あ。く。い。あ。く。も。事。を。く。け。と。作。又

為人のりりとも。得んも。信ら。む。い。何。て。信。家。の。人。の。同。し。信。法
 以。く。も。見。解。す。ら。く。ち。り。其。家。あ。く。も。け。た。ら。ん。何。を。ら。ん
 と。り。さ。く。ん。せん。あ。く。さ。く。に。氣。か。と。考。せ。し。と。指。畫。の。也
 佛。の。神。佛。を。ら。ん。信。と。り。武。士。り。昔。と。云。と。れ。士。礼。儀。の
 之。綱。も。常。に。徳。を。け。い。り。馬。礼。樂。の。藝。に。あ。く。い。又。武。二。乃
 け。ち。か。て。名。を。法。せ。し。揚。へ。し。云。此。神。的。の。理。人。道。り。つ。る
 き。の。れ。廣。大。よ。く。精。微。を。盡。し。さ。り。明。と。極。め。く。中。書。の
 よ。り。と。未。明。死。生。の。こ。と。の。か。何。も。信。心。を。ま。の。ま。ん。や。一。向
 ぬ。武。士。は。や。め。信。と。好。く。は。是。非。よ。及。し。ん。さ。も。あ。く。ん。り。ん
 と。信。心。を。ま。の。ま。ん。大。樹。園。を。立。給。ふ。一。さ。く。さ。く。と。信。家。乃
 政。と。これ。ら。く。ま。り。士。の。乃。立。ま。り。あ。く。い。信。佛。大。信。乃。ま
 り。妙。法。を。め。と。も。人。乃。と。背。く。彼。よ。あ。く。い。時。世。の。い。ん

とらるる

一 来書略。王法は法車の有痛をドム。法法の...
 王法の片痛車にてめらりいしや
 返書略。神代より神代といひ。王代より王代といふ。其の...
 かり。大なる世は法はあらはあ痛ハ。文武あはれ。法法の痛か
 まひま。王神地神乃神代。人王の神なり。大道は神く
 人氏皇居の化をさすなり。法法はりなり。王法は...
 武乃痛をさすなり。法の痛を入。知仁勇れ法をさすなり。王法
 かりなり。武は法久々なる乃文よりなり。法は...
 先ひなり。武家ハ文は痛をさすなり。法の痛を入。文は武
 ハ神人よをさす。君子の風なり。法は全なり。佛は法を
 世の乃て人よりなり。といふなり。神道ハ神なり。てを記

人通の...
 一 来書略。生此ハ人の常なり。あり。かよ。三年の悲哀々。
 是と記さるる。もむ。三年乃喪と記し。終りん。

返書略。古人乃悲哀ハ死をさす。はじ。あはれ。別とく。あはれ。
 うにひり。き義理あり。奥別ハ人あり。父兄ともふ。と
 十なり。ゆし。し。それとも。法立の教ハ必と。泪をり。か
 と。これ。その奥別ハ。法を教く。ふ。あはれ。あはれ。此別と。情
 じあり。死生ハ。死乃理あり。何と。死と。か。んや。只。一生の
 別を。さ。は。じ。あり。古の人ハ。利う。と。て。情。尊。一。父子別
 是。史。婦。と。好。ま。り。か。身。と。十。年。と。教。く。り。の。あり。或。ハ。一。生

[Faint, mostly illegible handwritten text in a large rectangular frame]

文泉堂

集義外書卷二

削簡二

一 宋書略日本國後世に於て何れに及らざりや
返書略聖人の道に及らざりや
くわりの事。千二百餘歳よ及らざりや。神代の遺風よ
其の向ふに其後欽明天皇十三壬申小百瀬出ると釋
迦仏像并に經卷と日かへ後と。上宮を子。聖武帝は此よ
り王乃ちおとろへたりぬ。其後佛法の盛るはと年々とい
やまて仏教の世に靡くわたり。子有傳也。壬辰五六百
年といふこと。佛若き道よりして驕り。逆を利ふ丹波
よりよりと。出家の心約ひこと。盜賊小同。一橋とて小橋
也。そいとすのころなり。中善八口海の師あり。あふ

外書卷之二

文泉堂

あやまらば成り

一 来書略 停務右神宮小。佛法成しと終ひ。出家と近付
ゆくと。天照皇と。佛法以前此神と成り。是ハ佛の名も
なき。時あり。と終ふ法をわく。又第六天此魔王と此形
か。又く。神の理り。事か。不審よ。此在ひ
返書略 禁中此名を。不正乃若し。禁中して近付ゆと。神
て。か。神まふも。程不正と禁中と。此
ハ。佛若よ。か。神思して不正乃者。停務も。禁中
近付。近付。神中此。帝王佛法と好し。行して。所
免と。か。ゆり。系内仕ひ。停務ハ神と。か。免と。て
P上。振もなく。又神靈此古法。改り。か。免と。て
して。た。か。神宮。古法の強。か。免と。て

神と帝王と。不及ア又樹。徳彦。御末。阿くも。不常。此
れ。ハ。近付。終ひ。か。免と。て。天下。此。人民と。阿く。の。遠
慮して。此在ひ。又大和。姫乃。世記。天照皇。佛法。と。か。免と。て
終ひ。事。成の。世。これ。神託。日本。此。神。と。か。免と。て
た。か。免と。て。者。佛。法。と。か。免と。て。神。明。白。た。ら
此。事。と。て。此。在ひ。日本。此。神。と。か。免と。て。阿。く。ま。り。あ。り。一
度。佛。若。と。成。り。と。色。び。と。り。と。て。悔。さ。う。と。不。可。算
小。い。ま。な。う。今。此。佛。若。過。半。と。か。免と。て。阿。く。ま。り。あ。り。一
も。小。い。と。て。大。乃。り。と。て。阿。く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。
乃。ま。ご。り。と。て。阿。く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。
一 来書略 阿く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。阿。く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。
一 来書略 阿く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。阿。く。ま。り。あ。り。一。度。佛。若。と。成。り。

外書卷之二

前篇二

四

返書略まがなひ此理をいふもあつたといふ。神農は醫
茶の法を傳へしといふ。茶種は神農ありてたゞあつて
見られと云ふよりいふ。志うれさき。朝夕食事などで多用て
何れをうけなふもの。さらけさふ。かひのいへる。此まら
大病といや。生死と定ひ。食の我彼は務ひ。茶は我まをてう
弟ひ。そと微妙乃神理し。七由さひなり。梅といふ。不入るも
流たまり。物れさひわく相とる。齒はわてされも齒のうさ
ひ。神の通と伝ふなり。由がひとさふ。つさひなり。日本
ひ。も海うけ醫茶は方とさる。収蓄とる。大方はさひ
の醫術とて病と療治とさひ。三篇の明神。又茶の天神。あ
る。てさうさひの醫術とさ。先行ひ。あり。今にわたり傳
て。此茶の中は神代の遺風あるもさる。

一 乘書略邪術のよこさひ。さる。そ。此まら病といや。いハ
信さる。てさ。寸とさ。此。情乃こつたやうふ人。いハ
返書略惡也たが。用極まで切あつ事多ひ。すし。乃毒あ
はも。忌焼あして。茶は用とわり。惡血あま。八目小體とい
ひ。我のどく。狐狸キツネ乃付さる。ても。又と邪神乃屋とる。さる
あとも。一旦刃て益あつ。は。由用あさ。い。伝作とあ。いハ
まじ。此刃て病とたさ。そ。伝作とあ。いハ
い者もたさ。い。物と此物と刃て。我あつ。さ。い。これ
さ。と。君さた。い。我乃事。中々邪術のさ。いハ。その。いハ
い。く。い。人のよ。ふ。い。わ。く。あ。せ。い。れ。い。漢乃高祖ハ。文亡目
か。ら。人。い。て。い。い。た。匹。ま。より。天下と。え。が。の。豪傑カウい。遠來
の醫師はあ。い。て。死と。安。い。る。い。内。よ。む。い。て。い。い。く。

本草綱目卷之三

川南

五

水合別わろくとい

一 兼書略 先度子い。儒佛のたらしの事ハ。其人次第と水合い
か不審なること何と云ふとい

返書略と云ふ。道わのせれと云くハ水合わとい
世間のとりこふも。愚人とらうのこはのこく。少智^チあるわ
ふ者ハ何方へかていつんもまきまき。乃其愚と云ふて
其人ハ才知あるか。あつとすれ。秘めとも何と云く秘めわ
ありのんとい。その同く信くまきといひあり人ううとい
て。異字にまよひあり。ま知れ志くは成りといゆりぬむ
人ううといて。聖字とせば。陳乃。凡人をううといて
ゆり人。先度の論と世間平人の事といひ
一 兼書略 守屋とい。逆片ともい。忠片ともい。まがひあり

まきまきと云。お換のりゆかとい

返書略 守屋ハ大長々。社稷の長も者して水合は
若かり。天照皇と大神のあひま。慈くまも。天照皇神記
小けて。百歳のためとんが知る人とい。神代ノ徳風
すて小吹と云。聖字ハ心法いまこれううとい。時か
まが他乃事といひとい。いあやれりも事とあれとい
おれかうたかといりあり。其上厩戸ハ皇子もあつとい
佛といひとい。まがこれハ守屋ハたとい。ま書と。厩
戸方と。愚ともからくまき。まが。あり。ま書と。ま書の
まが。ま書と。智若ハま書と。ま書と。ま書と。厩戸ハ皇子ハ
聰明とて。内のかく。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。
ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。ま書と。

ふくわのふれども。法立て後とるひも。不義なり。其の不
義のけい道といひぶさなり。婚姻の理とあるは。たゞく
辨へふとさなり。牛麻人合食と云ふは。これるまは。なぐ
食せされと云ふは。わらひ。神めふま。づらひ。はくふ。のふい
ゆん。どの。はく。食と。ゆめ。れと。く。あ。ふ。なり。

一 素書略。日本。道家。其。学。な。く。い。よ。三。教。と。い。ひ。ま。を。地
伏。い。

返書略。中夏。おと。道家。と。て。本。より。此。か。所。お。か。く。い。仙。家
の後。黃。帝。老。子。と。い。ひ。ま。を。道。者。乃。祖。と。い。ひ。傳。り。日。本。の
仙。家。と。て。一。流。ま。り。い。か。く。い。て。仙。家。の。流。り。お。か。る。ま
乃。世。に。は。い。か。り。お。か。る。ま。多。く。い。な。い。高。野。の。宣。海。り。い。ま
と。い。ひ。仙。術。と。い。ひ。ま。り。其。傳。本。と。い。ひ。密。して。此。法。と。い。ひ。

ゆる方便とたむり。いよひ。い。そ。う。い。仙。佛。と。合。し。て。い。ひ。ま。り。と
い。ま。り。い。ま。り。い。ま。り。書。お。と。宣。海。と。い。ひ。ま。り。仙。術。と。い。ひ。ま。り。て
い。ま。り。あ。り。と。記。せ。り。秘。法。乃。と。い。ひ。聖。人。の。道。と。い。ひ。名。を。か。つ。り
そ。い。ま。り。と。い。ひ。人。道。と。い。ひ。て。三。個。お。常。り。乃。い。ま。り。い。ま。り。と。い。ひ。ま。り
あ。り。ま。り。地。意。迹。と。い。ひ。ま。り。佛。小。命。と。い。ひ。ま。り。非。か。り。宣。海。が
終。り。の。終。り。い。仙。術。乃。と。い。ひ。ま。り。多。く。い。ま。り。其。外。七。夕。の。祝。月。の
お。か。た。と。い。ひ。仙。家。の。祝。た。り。今。時。世。人。の。意。と。い。ひ。ま。り。道。服。と。い
家。の。将。衣。と。い。ひ。の。た。り。道。家。其。服。が。あ。り。い。ま。り。乃。服。と。い
い。ま。り。か。く。れ。と。い。ひ。ま。り。あ。り。ま。り。と。い。ひ。ま。り。

一 素書略。人の。い。ひ。貴。老。乃。江。西。よ。学。び。て。も。江。西。乃。そ。い。ま
わ。い。ま。り。い。ま。り。故。い。ま。り。い。ま。り。

ありて出らるるはそれと見えたる後在るありては
とありていひしむくはるるはそれと見えたる後在るありては
Pのもの地形と見えたる又地よ身とありて水筋とありて
とありて名水といふはそれと見えたる又地よ身とありて水筋とありて
らん。宜海は後奇特と見えたる人較多ありては。其奇特
若故の害と益とありては。水筋は新法といひしむくは
子うしてありきむの千うしては。惣ては邪法のまじりか
くはるるは。その人成りて殊勝なる行者とありて。其奇特
つらむるは。その奇特と感しめりて。そのまじりか
見しむ。世の中よ益とありて。大よ害ありてありては。ま
よひの目しむ。益とありては。そのまじりか。角と直して牛と
殺とありてありては。宜海は唐より。幻術と見えたる。佛

法といひしむ方便とあり。日本とては。其奇特の初なり。
是とありて何れとては。其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
て。宜海とありては。其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
らん。其奇特とありては。其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
物なり。其奇特とありては。其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
法よ奇特ありとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
れ事して。其奇特ありとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
しむ。其奇特ありとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
海とありては。其奇特なりとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
河ありては。其奇特なりとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
えとありては。其奇特なりとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。
のわんとありては。其奇特なりとあり。たまさか其奇特なりとあり。皆宜海とありては。

くくの咽乃かろふとあり乃わんとじとんてをめひして職
 女よまひひらんや。守敏とゆわれわらひとててうぬ
 くるわひて。あつわらひる。空海に死つるとしたるり
 守敏といのりる。そふとつり。佛菩薩といふもの。大
 阿そふとてをなす。おれかもつれとひつさゆ者
 とのりる。あつとつふとあつとつ。さゆたか。かまん。あつら
 の坊主乃方人とあ非がひやわん。もつ実あつとを海
 し。人よあつとつ。つひと。邪人があつとつ。邪非のやう
 て。だつとつ。つらつら。

一 来書略。真言と授唱と。虎狼どど。のろろともしま
 くと。麻危おと。のろろとつ。ため。多P。つひ。い。く
 返書略。それと真言。たか。つ。わら。び。不動公。た。か。つ。ら。し。

付臆病なり者ハ。空海と大率乃傳授。真言と教ゆとも
 甲斐あつとつ。つひ。生付。あつ。つ。愚痴。文。盲。なり。者
 よ。大率。は。真。言。と。名。付。て。草。木。の。因。あ。つ。ね。名。も。と。色。よ
 づ。と。つ。へ。ひ。つ。い。く。様。よ。た。を。新。き。お。と。も。道。ま。P。べ。つ。い
 人ハ。万。物。の。靈。なり。故。よ。心。な。う。と。か。と。い。へ。し。何。もの。も。害
 とも。事。な。あ。つ。ね。の。つ。い。

一 来書略。出ん日伺ふ人。身あつとつ。つひ。とて。そん懸の。つと
 所。規。つ。ゆ。兼。及。ひ。つ。わ。つ。つ。つ。つ。真。任。も。大。た。り。ゆ。と
 つ。あ。つ。も。武。勇。す。つ。れ。を。つ。つ。つ。
 返書略。日本と小国ありて。貨多し。て。秋の。望。む。つ。つ。つ。
 是。以。つ。つ。つ。つ。國。法。儉。約。朴。素。と。て。仁。義。と。好。む。文。と。懸
 ひ。武。と。勉。め。い。ら。武。士。と。つ。者。と。國。の。敬。國。と。つ。つ。つ。

ゆむ。町人の極よ。暫も免樂と申すとて。いづれ。穽の乃
も。多敷をさうそとせしむ。小身ハ山野よりけり
寒暑風雨よ身となり。大身ハ軍法と試じふ
つ。聖人穽の道とて。先あり。後道よ。惜く志
しやあり。愚社十六七なり。時とて。おもしろか
ぢ。小。他人のやうり。進退不自由な。おとて。な
い。か。身重く。て。武士乃。達者。と。成。こ。か。ん。い。ふ
り。して。物。さ。ぬ。や。う。ふ。と。た。り。い。ま。それ。より。若。と。と。こ
て。寝。と。あ。つ。と。食。さ。じ。酒。と。の。ま。だ。男。女。人。の。分。絶。こ
や。十。年。た。り。き。は。戸。は。め。し。て。山。野。に。は。あ。な。う。ぬ。あ
て。ハ。性。と。つ。い。ち。か。と。あ。い。ひ。と。の。あ。乃。お。も。と。杯。つ。ら
の中。に。木。刀。と。系。後。と。入。人。の。あ。り。こ。う。海。よ。廣。庭。に

人氣がと。あ。よ。あ。く。周。よ。ひ。り。共。は。と。つ。い。ち。さ。り。乃。時
あ。を。ん。ぐ。う。か。う。と。人。遠。く。庭。の。と。と。を。り。い。て。は
あ。ふ。ん。付。こ。う。若。ハ。天。物。や。い。さ。り。ん。と。さ。さ。さ。け。い。是
も。三。十。の。内。の。ゆ。い。と。あ。ま。り。ふ。さ。さ。り。て。い。其。必。後。も
奪。と。と。こ。ひ。と。夏。の。暑。氣。あ。も。日。中。は。鉄。炮。と。り。ら。燈
よ。あ。く。雲。雀。と。う。ら。霜。月。極。月。れ。霜。霜。と。ら。て。山。中。よ。入
い。と。と。夜。夜。蒲。團。持。せ。と。う。と。お。う。う。と。綿。乃。と。と。衣。れ
と。小。木。綿。給。か。さ。ひ。と。う。と。わ。り。あ。く。換。筒。一。の。持。を。さ。さ。も
半。も。徳。紙。書。物。と。小。神。二。の。う。り。入。り。う。ま。と。て。民
は。部。の。あ。う。か。い。よ。仍。か。る。と。い。ゆ。い。と。さ。お。れ。は。と。め。ハ
く。り。と。や。い。な。ら。ば。い。三。十。七。八。歳。まで。か。乃。お。く。勉。め。い
故。よ。終。よ。や。り。り。さ。さ。ひ。社。志。さ。り。さ。ら。別。不。文。是。あ。く

亡一多あり。賢と稱ふ也。叔祖なく。吾子た皆逆長の子あり。殺して。佛法は人少くも。むじひも。やう也。それか。の。乱逆人と。聖徳といひ。治世と云ふ。愚乃。ゆり也。佛道も。我思ふも。若釋也。達之。根ありて。釋也。達之。小法。法也。こ。せ。ゆ。ば。益あり。時よ。益ありて。害あり。時よ。害あり。は。く。い。ま。ま。の。佛。法。と。一。人。の。人。あり。八。宗。九。宗。の。子。あり。是。と。り。目。より。年。より。鼻。より。と。一。人。に。は。な。り。とい。ん。ん。と。云。と。云。ま。れ。と。い。ひ。が。と。あり。全。体。佛。在。世。に。付。の。お。と。く。出家。も。家。に。在。法。して。山。号。院。号。れ。首。と。う。な。ら。ん。戒。定。慧。三。学。全。備。せ。と。僧。乃。多。う。か。と。や。う。も。考。つ。と。や。う。も。く。い。寂。滅。よ。と。り。陰。道。と。守。と。治。乃。よ。か。ま。つ。ん。世。よ。時。め。ん。い。つ。せ。事。乃。時。

之山林の石小ひと。亂世に時ハ罪なく。殺さる。と。の。衣。と。と。く。俺。言。と。う。が。れ。助。あ。る。べ。し。堂。乃。益。ハ。最。一。か。れ。衣。も。水。多。ふ。ひ。心。も。く。く。あ。ん。と。云。て。や。い。害。あ。ら。ぬ。も。時。よ。か。と。れ。い。害。れ。と。益。あ。る。と。時。よ。か。を。の。は。く。と。益。あ。る。と。い。ひ。

一 東書略大舜と諸馮よ。され。終。ふ。東夷の人なり。文王。武。周。よ。され。あ。る。西夷の人なり。かく。勝。ま。つ。る。聖。人。皆。是。と。よ。され。終。ひ。は。終。よ。中。國。小。な。く。と。聖。人。と。よ。され。終。ひ。ぬ。天。理。を。り。と。終。ひ。は。と。い。ひ。

返書略。諸馮。牧。周。と。中。小。に。内。わ。く。れ。東。夷。西。夷。と。て。い。中。國。と。と。王。都。よ。本。は。不。と。地。平。小。山。が。こ。や。ふ。う。ら。む。と。こ。め。り。あ。と。れ。ま。つ。と。と。れ。よ。い。一。人。ん。よ。は。り。か。つ。い。へ。と。も。こ。や。

そく道徳らるる。聖なるもこれな故よ。忠長孝子義士等
乃名といつて朽きぬ。我等れ知人よ。併学廣くして。武定
慧れ二とかの。釋也れあくる。久の。新出家有る。我等山林の
あま。みゆけのて。され。み。今。附。山。か。り。き。
と。り。り。て。農。工。商。の家。れ。被。換。し。遣。し。度。ぬ。か。家。た。ハ。皆。盜。賊。
か。れ。ん。還。俗。を。ゆ。く。盜。人。の。名。と。の。ど。是。大。方。多。か。せ。て。て。有。
之。ぬ。さ。わ。く。ハ。山。と。と。人。と。を。た。り。か。家。た。と。よ。く。来。ゆ。し。山。林。よ。
あ。り。寺。ら。り。た。て。毛。皮。事。止。ぬ。我。亦。か。家。と。て。ゆ。く。と。た。小。不。
ら。そ。く。と。度。雲。寺。協。藍。多。い。と。つ。い。た。れ。ぬ。か。さ。り。り。町。人。居。り。
ゆ。く。それ。ハ。坊。主。衆。の。迷。惑。して。一。と。之。還。俗。して。今。れ。吾。法。法。
と。ゆ。く。ハ。何。ゆ。り。て。成。り。ゆ。ん。や。俗。して。ハ。一。月。を。そ。り。り。か。く。
一。日。も。置。か。く。者。多。し。た。坊。主。ゆ。く。ハ。ん。ゆ。り。り。て。之。ぬ。農。

工商ハ一年中のみく。多く入て。か。ん。く。され。ぬ。か。あ。ひ
り。す。す。ゆ。餘。銀。有。之。者。ハ。百。人。よ。一。人。か。れ。ぬ。今。時。を。取。れ。た。樂。と。
及。ひ。と。亦。と。幸。小。ゆ。併。信。心。して。お。お。と。と。と。度。と。移。ぬ。ハ。千。人。
小。一。人。あ。れ。た。か。さ。り。に。有。べ。ぬ。ゆ。き。樂。が。か。ゆ。ハ。還。俗。を。
迷。惑。と。可。言。ゆ。ゆ。と。か。り。り。さ。お。お。が。あ。り。ハ。か。く。の。さ。り。
百。子。歳。の。後。世。中。と。と。か。く。道。理。ま。く。る。く。應。之。亦。所。分。別。
一。と。茶。い。
一。來。書。略。拙。老。在。阿。よ。并。奉。の。時。諸。方。も。人。多。入。と。わ。そ。ひ
り。ゆ。事。ゆ。り。り。ゆ。仕。は。き。ぬ。か。れ。る。と。わ。り。り。言。盡。し。
か。い。は。さ。り。ゆ。亦。れ。無。思。れ。ぬ。と。て。中。に。若。も。ゆ。た。ぬ。又。宣。
傳。を。く。と。あ。り。ゆ。れ。ぬ。き。用。り。若。も。ゆ。又。お。極。は。何。ゆ。ぬ。
之。用。心。ど。り。り。り。て。ハ。人。れ。氣。の。伸。可。ゆ。ね。も。な。く。ゆ。あり。て。く。

ありけり福をいふも京大坂江戸あも世制心もせり是れ所は餘ふ
 流るる時をみまらむるなりけりといふも若もいふもいふも也先
 下りも其書に記すといふもいふも是れいふもいふもいふもいふも
 也書略我等いふも雙方たふ真是れいふもいふもいふもいふも
 公よりいふも窮屈なりいふもいふも是れいふもいふもいふも
 無思とわす事もいふも是れ事也目か度所代無無思とや八た
 根をかふりていふもいふも人乃心根風依のた先いかにと
 たり見り度い京江戸たといふもいふもいふもいふもいふも
 故わたり也魚鹿の老れ勢氣とらういふもいふもいふもいふも
 くらういふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 味線い漢書いふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 孝子義士貞女等は義理のそくいふもいふもいふもいふもいふも

と催し善心といふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 かくいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 一いふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 といふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 一人はゆいけり其間いふもいふもいふもいふもいふもいふも
 かくいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 下りいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 是れいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 風徳はいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 殿板といふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 わるもの也故いふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 小色をいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

て心より老るゆへ。如何に成付。分ちて去るぬ不の儀も打
へかしくはぬ。か根より流りつらり事と。よふを思存知なくして
ひくし。ありあり来と。おぼし先之何く。して思存。人の心成う
かしく。風俗と。礼儀。能く。所分別して。神裁判をよ
一 素書略。拙者。又。祀より。鷹と。家業と。仕と。多く。は。習師。新り
思存。い。多。れ。鳥と。た。ゆ。り。も。お。ゆ。ね。の。あ。く。の。な。い。と。一。習。師
思存。一。か。と。と。お。わ。く。く。た。あ。わ。て。い。世。の。中。は。業。作。多。中。小
異。和。か。り。事。小。お。り。中。の。事。あ。ら。よ。か。と。い。る。や。り。て。川。流。
い。れ。の。お。作。成。た。て。仕。と。な。い。何。と。と。公。私。の。勢。も。致。し。て。い。先。
那。道。か。り。事。と。て。い。び。く。習。理。よ。い。い。と。利。て。中。と。ま。い。水
い。く。
返書略。習。い。鳥と。祭。教。事。は。経。より。と。見。え。い。人。れ。い。あ。く

取らるる。上。代。の。作。は。わ。り。守。備。大。の。事。は。詩。経。も。た。り。り
これ。は。賦。と。歌。と。取。ら。る。也。野。意。乃。考。え。事。は。其。天。性。の。く。作
人。は。い。よ。と。て。お。せ。い。事。も。お。り。其。理。わ。り。故。り。て。い。ま。上。士。君
子。の。衣。冠。な。り。つ。ら。り。田。獵。は。あ。く。い。お。り。山。沢。の。わ。り。人。教。多
く。と。な。れ。常。に。家。お。り。備。人。は。根。う。て。祈。り。ひ。各。別。は。習
かり。大。身。と。り。と。も。小。勢。と。成。り。と。事。い。ら。鉄。炮。と。物。と。世
か。ら。放。り。ま。う。と。ま。り。お。り。ご。り。習。り。わ。り。い。山。野。は。方。と。あ。り
り。取。ら。る。の。地。形。と。も。あ。り。民。の。善。劣。と。も。知。り。き。を。先。か。り。又
陰。陽。朴。素。の。体。も。備。乃。中。ふ。わ。ら。る。な。れ。古。の。法。と。主。意。と
と。お。ま。い。い。心。備。の。道。と。わ。り。き。と。中。根。を。な。く。い。ま。れ。習。と
業。と。と。れ。と。操。り。中。中。根。と。も。今。ま。中。と。失。て。末。は。中。り
習。い。も。と。て。中。道。と。な。り。い。ゆ。い。わ。ら。り。て。い。ま。後。の。り。と

其後の智者算数と傳へて。春夏秋冬の氣。日月乃融よ
いそりて。少も多も。天地乃大方の一分と知り。た
る。何れも。心算あり。毛とらんが。わやまり。さる。さる。な死
り。た。衆神農乃君草木と方め。醫業此本と初め。ひて
し。其後。智者。人の一身と天地の天よ。あはさ。く。知。針。葉。方
た。衆。さ。事。成。傳。り。り。人の身と切刻。け。さ。ね。さ。血。り。血
ま。れ。て。却。て。り。ま。れ。さ。さ。の。あり。君。れ。く。道。理。と。い。く。初。り。さ。て
一。毛。と。さ。る。と。一。分。と。わ。や。ま。る。に。腦。脈。經。絡。よ。通。り。さ。る。と。如
此。聖。人。と。卒。人。と。性。命。を。理。よ。と。い。く。と。れ。か。さ。る。か。り。や
り。ども。其。分。量。れ。大。小。各。別。か。り。あ。わ。た。ん。と。山。の。井。れ。水。と
河。海。を。水。の。分。量。れ。と。水。の。り。り。あり。と。い。ども。其。量。の
ろ。さ。る。か。よ。大。莫。小。莫。と。さ。る。と。舟。と。り。風。は。と。あ。り。夫

下れ不通とさる。其妙わげとくさる。老人のむら。世
一間の空。中。れ。と。く。聖。人。の。む。ら。大。虚。乃。空。中。れ。と。く。さ。る。空
中。か。り。り。お。さ。れ。と。く。世。一。間。の。空。の。火。と。ま。ら。く。用。と。達。に
天地乃空中。日月星辰。か。り。風。雷。雲。雨。と。れ。と。く。寒。暑
昼。夜。と。れ。と。神。物。乃。か。り。さ。る。言。語。よ。の。と。く。一。る。れ。空。中
山。の。井。れ。水。乃。知。と。く。さ。る。あ。り。と。く。聖。人。の。其。知。よ。た。ふ
り。と。さ。る。と。く。一。神。の。理。と。さ。る。同。根。の。性。と。み。ら。び。さ
て。聖。人。念。聖。人。と。さ。る。三。綱。又。常。乃。道。と。あり。其。分。量。れ。廣
大。よ。と。く。人。の。不。知。と。れ。妙。と。く。傳。事。と。く。至。極。と。さ。る。と。く
堯。舜。の。後。と。く。死。生。と。さ。る。と。く。昼。夜。の。と。く。何。の。類。よ。さ。る
らん。此。廣。大。無。量。乃。大。か。り。と。く。大。虚。天。地。一。間。よ。ん。あ。り
人。の。何。と。ん。あ。り。と。く。地。獄。乃。死。と。佛。よ。ゆ。づ。り。あ。り。と。く。さ。る。と。く

砂に西ありては。唐のまろしわいざらるる也。茶葉もろしなると
理なり。且天道に至る也。何の悪ありと。地獄國と云ふは。地
造化の云を説かり。人の顔乃同じたは。天下と歴てことひ
やくしあ人なり。あくひらと。神理ありて。何は事くたを。されは
ふれりわんや。あはれ授けり。聖人の教と。ばはあかて
理り。形は授けり。と。佛説と。用ひ。須弥山乃圖と。あやまり。
西方南方等は。佛國と。かす。地獄餓鬼等は。六道といひ。理
二ありと。理わきと。あす事あり。かす。地獄極樂の理わきと。亦
其國もと。かして。不叶なると。其理別と。ひの理あり。か
より。天理あり。何の其事。其あり。むや。佛説と。由と
わきと。こも。れあくしわいざらる。唐乃。授けり。と。上は。佛説
乃。本なり。と。知あり。其上。三皇五帝乃。所代なり。と。いふ。

一と。事也。三王と。近し。と。いふも。釋迦より。と。千年終
ひ。あかり。孔子の。衰世乃。聖人也。釋迦より。と。少。後よ。まれあふ
と。いふも。孔子の。時。あ。い。ま。佛の。名。も。さ。う。だ。り。あ。く。後
一。後。より。天。下。小。愚。痴。なる。者。多。き。れ。と。あ。り。た。り。事
程。く。ひ。ら。ま。れ。と。は。法。法。親。鸞。日。蓮。等。は。本。の。く。て。と。あ
る。る。儒。も。あ。り。と。れ。と。い。ふ。も。な。り。と。く。人。の。氣。と。い。ふ。て
世。よ。あ。ひ。ぬ。ぬ。と。あ。り。と。あ。教。と。ひ。ろ。く。と。り。釋。宗。の。名。義。と
と。事。と。あ。ひ。ら。流。な。れ。と。今。人。の。法。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。
て。名。義。と。い。ひ。か。り。と。り。人。多。と。時。は。天。小。勝。と。く。聖。人。の
道。と。天。道。と。い。ふ。と。最。高。の。人。の。多。小。勝。と。く。正。理。と。あ。り。あ。ひ
あ。り。と。も。論。か。と。事。也。天。定。最。時。は。又。く。人。は。勝。理。は。必
あ。り。と。一。且。運。命。乃。名。塞。ふ。と。も。根。か。と。い。ふ。と。あ。り。

一と云はれしを以て教を以てしわけん。天性の良をわたり。
 悪公悪行と。善と思ふもの成れず。と云ふなり。よりの
 教也。阿弥陀乃。わたりしと云ひく。善と云ふのひ元まじ。と云ひ
 たり。此れ阿彌陀願也。我實せむ。と云ふなり。ゆりしと云ひく。わたり
 天性と云ひく。不仁有欲と云ふ。恥と云ふ。教は討まじ。討まじ。天
 下は國と云ふ。悪事と云ふ。と云ふなり。身の置所と云ふ。
 若し。討王世。都よりわたりぬ。どより其の悪人より。善
 人と云ふ。此れ。悪人此れ。分ち。氣は。介あり。天下取。天下此
 悪人。此れ。なれ。悪人の分。討は。得て。おろりぬ。阿彌陀教也
 此佛と云ふ。を。と云ふ。天下此。悪人。此。棟梁也。大衆。此。善。と云ふ
 と。人と云ふ。よ。と云ふ。人の善。成。ゆり。ゆり。と云ふ。今。教也
 此。佛。と云ふ。と。人と云ふ。人の善。と云ふ。事。と云ふ。ゆり。ゆり。なり。教

此は徳仁と云ふ。慈悲と云ふ。公此。徳。を。異。の。命。也。阿彌陀。と云ふ。
 善。法。と云ふ。形。色。聲。臭。と。離。と云ふ。不。死。此。心。を。神。と云ふ。
 と。悪。人の。大。將。と云ふ。なり。其。教。也。と。天下。第一。罪。人。なり。と
 云ふ。と。下。此。場。ま。じ。西。徳。人。を。信。す。る。所。の。公。此。教。也。と。
 云ふ。と。わ。り。ゆ。り。ゆ。り。教。也。と。云。善。法。也。慈。悲。徳。乃。ゆ。り。ゆ。り。
 又。と。わ。り。ゆ。り。ゆ。り。と。云。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。
 ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。
 理。お。た。び。き。り。事。か。り。れ。よ。ま。じ。よ。其。慈。悲。は。千。倍。も。万。倍。も。
 人。此。わ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。
 ち。の。ま。じ。よ。と。云。徳。は。教。ふ。わ。り。ゆ。り。徳。仁。と。徳。仁。か。ま。じ。ゆ。り。ゆ。り。
 弊。を。思。ふ。教。ふ。の。也。今。討。ま。じ。も。わ。り。ゆ。り。貴。人。を。御。前。に。
 又。と。ま。じ。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。

外書卷之二

前篇二

二十七

外書略也

返書略。儒道より名を聖と云。儒も。亦作らる。其
す。日本は神代と云。宋は。五経と云。唐は。詩書
春秋と云。興は。子孫と云。二は神代。風土。海
より事。八。行。も。ある。海。く。山。國。去。小。山。く。風。俗。の。り。と。と
も。天。代。神。道。と。二。妙。く。山。儒。く。の。佛。く。の。道。と。云。た。ら。と
其。國。た。ら。ぬ。由。持。来。る。事。八。及。と。云。ぬ。若。し。云。と。云。と。云。

集義外書卷二終

